

教科目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

1学期 主な学習内容 (30時間)	2学期 主な学習内容 (41時間)	3学期 主な学習内容 (34時間)
【体育分野】 1 体づくり運動 2 陸上競技 (短距離走・リレー) 3 ダンス (創作ダンス) 4 水泳 5 球技 (ベースボール型) 【保健分野】 6 健康と環境	【体育分野】 1 器械運動 2 球技 (ゴール型) 3 陸上競技 (走り幅跳び) 4 球技 (ネット型) 5 体育理論 (文化としてのスポーツの意義) 6 陸上競技 (長距離走) 【保健分野】 7 健康な生活と疾病の予防	【体育分野】 1 球技 (ネット型) 2 陸上競技 (長距離走) 3 武道 (柔道) 【保健分野】 4 健康的な生活と疾病の予防

評価の観点と規準 (各観点の割合は、全て達成率100%で統一する。)

	評価の観点 (1学期より抜粋)	評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ねB評価」等の設定 (行動目標)
I 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めることができる。 ・ 表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。 ・ 手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・ ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 ・ 課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康と環境について理解を深めることができる。 	【全教科共通】 ・ 定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・ 授業観察 ・ 実技テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとに実技テストを行う。実技テストは、フォームチェックや演技、測定した値から算出した個人目標への達成度などで評価する。 【各教科 独自の方法】 ※評価基準については、授業内で提示。 例：器械運動 2つ以上の技を連続して行う演技を披露 評価基準 A→2つの技ができる B→1つは技ができる C→1つも技ができない
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・ 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 ・ 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 ・ 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・ 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・ 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 ・ 健康と環境に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。 	【全教科共通】 ・ 定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・ フォームへの入力内容と授業での取り組み状況 ・ ノートなどへの課題の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カード (フォーム) やノートで評価する 【各教科 独自の方法】 ※評価基準については、授業内で提示。 例：器械運動 その授業における、自分の課題に対してどのようなことを考えて取り組んだかをフォームにまとめる。 A→自分の課題に対して工夫して取り組み、その結果を生かせる内容の記述がある。 B→自分の課題に工夫して取り組んだ内容の記述がある。 C→自分の課題に工夫して取り組むことが読み取れない。
III 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。 ・ ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。 ・ 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。 ・ 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。 ・ 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営もうとすることができる。 	【各教科の方法・資料】 ・ 授業観察 ・ 学習フォームやノートへの取り組み状況 ・ 学習フォームやノートへの記入内容	【全教科共通】 ・ 授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 【各教科 独自の方法】 A 試合の時に、勝敗などを認め、ルールやマナーを守っている。 B 試合の時に、ルールを守っている。 C 試合の時に、ルールを守ることができない。